

広島県内では初 骨髄ドナーの学生に公欠制度を導入 学生団体「しずく」の活動を受けて

広島国際大学（学長：焼廣益秀）は、ドナー登録した学生が骨髄や末梢血幹細胞を提供する際、欠席を認める公欠制度を導入しました。公益財団法人日本骨髄バンクによると、日本国内で本制度を学生に適用しているのは4例目、広島県内では本学が初となります。

最近では、競泳の池江璃花子選手の白血病公表をきっかけに、骨髄ドナーが注目を集めています。提供に当たっては複数日の入院により、費用の自己負担や仕事を休む必要が生じるため、自治体や企業が費用面、制度面でさまざまな支援制度を設立しています。本学では、学生による骨髄ドナーバンク登録推進団体「しずく」(*)の活動実績もあり、日本骨髄バンクからの提案を受けて導入を決めました。



説明員として活動する「しずく」メンバー

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

※骨髄ドナーバンク登録推進団体「しずく」

2011年に、当時骨髄ドナー登録を啓発するわが国唯一の学生団体として設立し、学内外での啓発活動や登録会の開催、説明員のボランティアなど、骨髄ドナー登録の推進に尽力。2013年には活動内容が評価され、広島県から感謝状を受けています。

.....【概要】.....

1. 対象者：広島国際大学の大学院生、学部学生
2. 制度利用方法：【事前】当該院生・学生は骨髄等提供確定後、速やかに大学へ連絡
【事後】骨髄等提供をしたことが分かる証明書等を大学に提出
3. その他：東広島市に住民票がある学生は、同市に申請すれば入院日数に応じ最大14万円の助成金の交付を受けることができます。

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 診療放射線学科 教授 富永孝宏
TEL：0823-70-4586 / 東広島市黒瀬学園台 555-36

■取材の申し込みに関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927